

シエイワ取水門完成式典の中村医師(右)



写真展『人・水・命』ペシャワール会現地活動報告 ～医師中村哲がやったこと～

もともとペシャワールに行くハメになったのは蝶や山で、遊びに行つてのつっぴきならぬ事態に次々と遭遇し、足が抜けなくなつたまでの事である

中村哲の著書「辺境で診る 辺境から見る」から



理事長兼館長
中村 寛

主にアフガニスタンで医療事業、灌漑用水路建設事業、緊急食糧配給事業などに取り組みNPOペシャワール会(事務局・福岡市)の現地代表中村哲医師(1946年生まれ)らの活動を記録した写真展を4月7日(金)から別館1階で開催します。

中村さんは九州大学医学部を卒業した後、国内の病院勤務を経て1983年、パキスタンの州都ペシャワールに赴任しました。中村さんを待ち受けていたのはハンセン病、結核に罹つた貧しい患者たちの悲惨な姿でした。中村さんはその渦中に飛び込んでいきます。

アフガニスタンと聞くと、私などの世代は1980年のモスクワ五輪ボイコットを思い出します。旧ソ連のアフガン侵攻を非難して日本など西側諸国が参加しなかつた苦い記憶です。その後もこの国では対立、抗争、戦争が後を絶たず、中村さんは想像を絶する困難と闘ってきました。

あれから30有余年。同じ大学医学部の同門として中村さんの長年の活動に敬意を表すと共に、皆様のご来館を心よりお待ちしております。Ⅱ2面に関連記事Ⅱ

15月は全日開館1

4月29日(土)から5月31日(水)までの33日間、能古博物館は休まず開きます。

姪浜市宮渡船場(福岡市西区)発のフェリーに乗つて10分で新緑あふれる島に着きます。西鉄バス「渡船場前バス停」からバスに乗り、二つ目のバス停「学校前」で降りれば、徒歩5〜6分で博多湾を眼下に見下ろす館に着きます。

展示のメインテーマは『博多湾物語』。鎌倉時代の元寇に始まり江戸期の五ヶ浦廻船、昭和期の海外引き揚げの記憶、五輪ヨット選手の名譜、牛島龍介の世界一周単独ヨット航海など、博多湾の海の史実をご覧ください。

また、江戸期の儒学者で国宝金印の鑑定で名を成した亀井南冥とその一門の業績、万葉集に登場する島の古い歴史、精巧な和船模型の数々も見逃せません。島内外で収集した鉱石、貝類の標本もご覧になれます。

喫茶コーナーでは淹れ立てのコーヒーをお楽しみください。冷たい飲み物も用意しています。喫茶だけのご利用も可能です。

★ 5月18日は「国際博物館の日」。福岡市では13〜21日を「福岡ミュージアムウィーク」(当館など参加)として景品が当たる「スタンプラリー」などを行います。

アフガニスタンに生命の水を

国際協力の33年
ペシャワール会 事務局長 福元満治

戦乱と旱ばつ

ペシャワール会は1983年、中村哲医師のパキスタン・ペシャワールでのハンセン病診療と共にスタートした。ハンセン病診療を柱として、多い時には一つの基地病院と10カ所の診療所を運営してきた。しかし米軍の診療地域への侵攻や治安悪化で、現在では1カ所の診療所だけが機能している。私たちの診療活動を妨げたのは、米軍や治安悪化だけではない。2000年から打ち続く大旱ばつによる渇水、砂漠化がさらに追い討ちをかけた。早ばつで診療所のある村がまるごと難民化することもあった。診療所があつても水がないことには、村人の生存そのものが不可能な事態まで追いつめられていたのである。

アフガニスタンに対する日本人が持つイメージは、砂漠と山の荒涼たる風土で、原理主義を信奉する狂信的なテロリストが、自爆テロを繰り返している荒廃した国、というようなものではないだろうか。ところが、本来のアフガニスタンは穏やかな農業国である。人口の約八割は農民で、2000年に始まる早ばつ以前は、穀物自給率が100パーセントに近い豊かな農業国だったのである。

イスラム文化

もう一つ認識すべきは、アフガニスタンはイスラムという独自の文化を持った共同体である、ということである。モスクと600人の子どもが学ぶマドラサ(神学校)も建設したが、その建設を告げたとき村の長老たちは中村医師に次のように言った。

「これで私たちは解放される、私たちは自由になれる」

私たちは、イスラム教徒に対して「絶対神アラーによって自由を拘束された、無力な民」という先入観を持っていないだろうか。過酷な風土で暮らす彼らは、信仰を持つことで貧しい日々を受け入れ、不安があつても安寧を得ている。だから祈りの場であるモスクがあつて初めて、過酷な日常から解放され、自由を感じることが出来る。

ところがその付属神学校であるマドラサには欧米諸国による偏見がある。マドラサで学ぶ子どもたちのことを、単数でタリブ、複数でタリバン(神学生)という。だからマドラサは狂信的神学生タリバンの養成所であると。だがほとんどのマドラサはコーラン教育を基礎にしながら数学や英語、科学を教える伝統的學校にすぎない。キリスト教系や仏教系の學校が、聖書や仏典を基礎に一般教科を教えるのとは本質的には変わらない。

井戸を掘り、伝統工法で用水路を建設

早ばつに対して、私たちは1700本の井戸を掘ったが、飲料水だけでは生きていけない。そこで2003年からは、農業用水路の建設を始めたのである。

現地の事業主体であるPMS(平和医療団日本)が建設した全長27キロの用水路によって復興した田畑は3000ヘクタール。およそ15万人の生存を確保することができる。工事は連日400人ほどの作業員が従事したので、13年間で100万人以上の雇用が発生したことになる。用水路工事が無ければ難民になるか、軍閥や米軍の傭兵になるしかない人々である。用水路工事が巧みずして地域の治安安定に寄与したのである。総工費約15億円はペシャワール会の会費と募金で賄った。さらに5年前からは、JICA(国際協力機構)とPMSとの共同事業も始まり、現在では対岸も含め1万6千ヘクタールほどの農地を用水路で回復維持するまでになった。

その用水路事業は、日本の伝統工法を参考とした。モデルにしたのは、江戸時代、庄屋古賀百工によって作られた福岡県朝倉市の山田堰(「斜め堰」)である。コンクリートと鉄筋中心の近代工法でなく、「蛇籠工」や「柳枝工」という江戸期に完成した伝統工法を、なぜ採用したのか。用水路は決壊するものである、ということを前提にした時に、コンクリートだと土地の人々にとつてその修復は、技術的・財政的にみて困難を伴うことになる。実



医療、調査活動中の中村医師(中央)



重機を使って取水堰(せき)工事に挑む中村医師

際、外国の援助団体によって建設されたものの決壊後そのまま放置された現場を、私たちはいくつも見てきている。

蛇籠は縦1メートル横2メートル、幅60センチほどの鉄線で編んだ籠の中に石を積み上げたものである。これを用水路の兩岸に積み上げる。その蛇籠(布団籠)の背面に土嚢を積んで柳の刺し木をする。これが柳枝工である。

アフガン人は家を石と泥と日干しレンガで築き、子どもも手伝う。男たちは生まれついて石積み技術をもっている。だから彼らにとつて蛇籠であればその修復・保全是難しいことではない。私たちは用水路を完工し、15万人の生存の基盤を確保した。イスラム教徒である農民たちの精神の拠り所であるモスクとマドラサを建設した。さらに用水路の技術訓練所を建設中である。ここでは用水路の建設現場で習得した治水技術を、アフガン全土に拡大していくことが期待されている。

つまり私たちは、①用水路Ⅱ生存の基盤 ②モスク・マドラサⅡ精神の拠り所 ③訓練所Ⅱ技術の維持・拡大機能を建設することで、アフガニスタンの一地域において、その復興支援モデルを提示できたのではないかと考えている。

(ふくもとみつはる・凶書出版石風社代表)

◆国策協力ポスター 新たに展示◆ 引き揚げの悲劇につながった 「満蒙開拓青少年義勇軍募集」

戦争協力を国民に呼びかけたポスター135枚を保存する『阿智(あち)村コレクション』(長野県下伊那郡阿智村)のうちの1枚「**往け若人！ 北満の沃野へ!! 満蒙開拓青少年義勇軍募集**」複製(縮小版)を、別館2階の常設展示「海外引揚げの記憶」に新たに追加、展示しました。戦時中に長野県が製作したポスターです。当時の政府は1936(昭和11)年に決めた「満州農業移民二十九年百万戸送出計画」のもと、満蒙開拓移民を強力に推進しました。「青少年義勇軍」はその一つです。農地を半ば強制的に買収するなど、現地の人々の犠牲の上に成り立った開拓移民ですが、敗戦後の引揚げの悲劇では多くの開拓移民が命を落しました。

村落単位の集団移民 長野県は全国で最も多くの人材を満蒙に送り出した自治体です。具体的には、村や集落を単位とした集団移民が頻繁に行われ、一方では自作農を目指して個人的に満蒙に渡ろうとする農家の次三男も多く、彼らはこのポスターの呼びかけに応じる形で新天地を目指しました。

大陸花嫁 移民希望者に対しては、事前学習の機会として修練所への入所や通学が義務付けられ、女子向けの満蒙開拓女子修練所も開設されました。拓務省(当時)は1938(昭和13)年から道府県が主催する女子向けの移民講習会の開催に対し補助金を交付するようになり、同年には満州移民協会が2千4百人の大陸花嫁の募集を始めました。

写真だけのお見合い 長野県内には翌年の1939(昭和14)年に10カ所の女子修練所が開設されました。対象となったのは満蒙開拓者の配偶者、または将来そのようになることを希望する女性であり、彼女たちの中には、先に入植した満蒙開拓義勇軍の男性と写真だけの見合いを経て、大陸花嫁として単身満蒙に渡り、敗戦後の混乱で悲劇的な最期を迎えた人がたくさんいます。



ポスターの全体図

ある開拓団の運命 1937(昭和12)年に下伊那郡町村会が送り出したある開拓団は、関東軍の指示で入植地を決め、満州開拓公社が購入したという肥沃な既耕地に入植しました。最低気温はマイナス30度にもなりましたが、病院、郵便局、学校、青年塾、製粉工場、バター工場などを建設。土地と家を追われた現地人の中には日本人に使われる人もいたそうです。敗戦と同時に現地人の襲撃、略奪暴行が繰り返され、痛ましい集団自決もありました。収容所では飢えと寒さ、疫病の流行で多くの団員が亡くなりました。この開拓団の敗戦時の在籍数は267戸、在籍人数は1078人(内出征数99人、在団数980人、引き揚げ658人、死亡286人、未帰還24人、不明12人)でした。数字は原文のまま。

阿智村コレクション 先の戦時期に日本政府や軍、その外郭団体等の公的機関が制作した121種類、135枚のプロパガンダポスターによって構成されたコレクションの総称。日中戦争が始まった1937(昭和12)年から敗戦の1945(昭和20)年にかけて長野県下伊那郡会地(おうち)村(現・阿智村)の村長を務めた原弘平氏(1891-1950)が収集、自宅に保管していたもので、敗戦後GHQ(占領軍総司令部)の追及を恐れた為政者は焼却命令を出したが、原村長はそれを無視して、油紙に包んで自宅土蔵の天井裏に隠した。50年後の1995(平成7)年、弘平氏の子息が村の平和祈念誌に一部を提供、さらに2010(平成22)年に孫が村に全135枚を寄託。村では複製を作り有料で貸し出している。最多の54種類は戦時国債の発売や貯蓄奨励を呼びかけるもので、以下傷兵保護や遺家族関係17、地元長野県関係16、金属回収関係11、労働力の確保関係10、募兵関係9など。

阿智村 長野県南部に位置し、人口約6500人。戦前は完全な農村で、しかも貧農世帯が圧倒数を占める貧しい土地だった。

〔注〕 田島奈都子(青梅市立美術館学芸員)編著「プロパガンダポスターにみる日本の戦争」135枚が映し出す真実(勉誠出版刊)、満蒙開拓を語りつくす会編「下伊那のなかの満州」聞き書き報告集8(発行所・飯田市歴史研究所)を参考にしました。展示ポスターは阿智村の貸付事業によるものです。

新しい本の紹介

樋口恵子著

『サザエさんからいじわるばあさんへ』

女・子どもの生活史

評論家の樋口恵子さんが24年前に著した単行本(1993年トモス出版)が装いを改めて文庫本(朝日新聞出版・定価660円プラス税)に収まった。

国民的漫画「サザエさん」の筆者長谷川町子が72歳で急逝した翌年の1992年、樋口さんは福岡市・西新の西南学院大学そばにあった町子の旧居を訪ねた。和洋折衷のモダンな二階建て。樋口さんは詳細な観察記と見取り図を紹介し、自らが過ごした東京郊外の新興住宅地を引き合いに、長谷川家の暮らしぶりを「戦前型中流」と分析する。サザエ本の類書は数多あるが、読者はまず著者の鋭くて優しい観察眼に引き込まれるだろう。ワカメちゃんやいじわるばあさんにモデルが居たなんて、町子ファンにはたまらない話題も詰まっている。



著者

旧居はなくなったが、地元のサザエさん熱は近年高まる一方で、商店街が中心になってサザエさん通りなるものが数年前に誕生、この1月には「町子先生とサザエさん像」までが、昨年創立百周年を迎えた西南大学の手によって同大の新図書館前に完成した。

樋口さんは1932年生まれ。東京大学文学部卒。東京家政大学名誉教授。「高齢化社会をよくする女性の会」理事長。

樋口さんと能古博物館 当館が主催した講演会、2009年の開館20周年記念講演会(約800人ももちパレス)と翌年の「能古博物館発・ティーターイム・ステージ」(約100人・福岡アジア美術館内あじびホール)で「サザエさんといじわるばあさん」をテーマに語った。海外引き揚げ問題でも長年交流している。



チラリ
拝見!

よその美術館

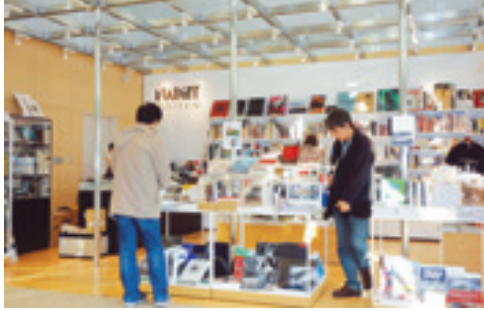
東京都写真美術館 (目黒区三田)

1995年、山手線・恵比寿駅近くの恵比寿ガーデンプレイス内に、日本で初めての写真と映像に関する総合的な美術館として開館。昨年9月、リニューアルオープンした。3万3千点以上の写真・映像コレクションを誇る。

写真作品が中心だが、関連する出版物、ネガフィルム、ポスター、映像資料など写真文化を理解する上で必要なものを幅広く収集する。昨年までの6年間、四代目館長を務めた文化人の福原義春さん(株)資生堂名誉会長は、「学芸員は雑芸員たれ」と専門性に閉じ籠りがちな学芸員の覚醒を促した。その効果あつてか、通算入場者数は600万人を超えた。



報道写真家ロバート・キャバが第2次大戦のノルマンディ上陸作戦を撮った『オマハビーチ』(右)が来館者を迎える



館内の「BAITEN」には岩波写真文庫(計286冊)の復刻版もあつた

研修室でロボット授業

昨年11月25日、当館研修室に能古小学校3年生12名を集め、ロボットのペッパーを先生役に使ったプログラミングの授業。写真Ⅱがあつた。システムトランジスタ社(福岡市)の主催。当館の研修室は句会などにも有料で開放している。



中国から教授夫妻

昨年12月13日、中国・上海市の東華大学人文学院教授陳祖恩さん(写真左)と夫人の袁雅瓊さんが来館した。



日本国内旅行の途上に立ち寄ったもので、日本の友人から当館を紹介されたという。2時間余にわたって別館2階の常設展『海外引き揚げの記憶』を中心に館内を見学し、喫茶コーナーでくつろいだ。

新春の母子地蔵

東京・浅草の浅草寺境内にたたずむ「まんじゅう母子地蔵」が、この4月で建立20年目を迎えました。敗戦後の旧満州(中国東北部)で飢えや疫病、酷寒の犠牲になった日本人母子の慰霊と、生き別れになったまま再会がかなわない親と子の心のよりどころとして、少年時代に旧満州から引き揚げた漫画家の森田拳次さん(1939年生まれ)、ちばてつやさん(同)らが1997年春、建てたものです。新年の参拝客でごったがえす雷門のすぐ脇にある母子像は、折からの寒風の中、ご覧のようなお姿でした。(1月5日写す)



主なグループ来館(平成28年12月〜平成29年3月)

- ▼〔12月〕1日(木)島内の介護施設「みんなの家」10名
- ▼〔1月〕13日(金)大阪から旅行社の団体旅行「万葉の故地を訪ねて」万葉集と古代の謎を訪ねる」35名
- ▼〔3月〕6日(月)舞鶴引揚記念館長ら2名、16日(木)福岡県警察学校生研修55名、26日(日)光円・句会25名、29日(水)能古校区老人クラブ観桜会30名、31日(金)東京から旅行社の団体旅行「万葉の故地・筑紫路横断」20名

新入会員の皆さん(敬称略)

- 「協賛個人」筒井勝美
「友の会」浅香直哉、荒木英子、田中由紀子、春野佳子、春野長子

能古博物館協賛ご寄附及び友の会(継続・新規)会員

(平成29年3月末現在)

協賛ご寄附

(法人)

- 医療法人笠松会 有吉病院
医療法人社団江頭会 さくら病院
医療法人恵光会 原病院
医療法人西福岡病院
(医)博仁会福岡リハビリテーション病院
医療法人 原三信病院
医療法人 原三井病院
社会医療法人 エム・エイ・シー
税理士法人 エム・エイ・シー
西日本シティ銀行 土井支店
社団法人あおば研究所
エムサービス(株)
(株)サンコー
(株)CDS
(株)ホームケアサービス
(株)筑紫不動産
(株)メディアカルアシスト青葉
(株)旭工務店
(株)アサヒホーム
(株)内藤工務店
(株)ふく福サービス
(有)福岡住宅流通サービス
(株)ワイエムフーズ
浄満寺
彩苑

(個人)

- 足立晴道 石野智恵子 出光豊
出光芳秀 上崎典雄 上野道雄
柏木重人 亀井准輔 久我篁子
久保千春 毛戸彰 朔元則
鳥塚祐弘 鈴木友和 添島律子
多々羅節子 寺田隆 戸井雅貴
仁保喜之 原裕介 原寛
林十九楼 増田康治 翠川文字
林純 田中一光 岸恒憲
筒井勝美 (敬称略・順不同)

友の会会員

注1 敬称略・五十音順
・数字は会員歴(年数)

Table with 3 columns: Member Name, Address, and Membership Number. Includes names like 明石幸, 秋山雄治, 秋山直哉, etc.

協賛寄附のご案内

法人100三万円 x 口数
個人100二万円 x 口数
税制上の「寄附金控除」の対象になります。

納入方法

- 1、郵便振替え 017300960970
公益財団法人 能古博物館
2、銀行振込み
西日本シティ銀行 土井支店
普通 0551459
公益財団法人 能古博物館

Table with 3 columns: Member Name, Address, and Membership Number. Includes names like 下郡治子, 白垣恵子, 西山紀子, etc.

友の会入会のご案内

- 友の会会費 100三千元 (何口でも可)
※会費の納入方法
郵便振替 017300960970
公益財団法人 能古博物館
(1) 振込み料は当館にて負担致します。
(2) 会費の納入確認後、会員証とコピー券をお送り致します。
(3) 会員証の有効期間は1年と致します。
(4) 入館時に会員証を受け付けに提示下さい。ご入館は随意で何回でも無料です。(ご同伴1名まで無料)
(5) コピー券で挽きたてのコーヒーを博多湾を見ながらお飲みいただけます。
(6) 機関誌「能古博物館だより」を各年度3回(予定)、お届け致します。随想やご意見を歓迎します。但し誌面の都合で掲載を見送る場合はご容赦願います。原稿はお返し出来ません。必要なら事前にコピーをお願い致します。
(7) 館が企画する催物のご案内に参加費の割引を致します。

ようこそ博物館へ



凡例

- バスコース (能古学校前バス停から徒歩約4分)
- 徒歩コース (渡船場から徒歩約15分)
- 館内散策路
- 名所・旧跡
- お食事、みやげ物店など
- 博物館案内板
- バス停

開館日 / 毎週 金曜・土曜・日曜と祝日
 ※団体の場合は休館日にかかわらずご相談ください
開館時間 / 10:00～17:00(入館16:30まで)
入館料 / 大人400円・高校生以下無料
 ※団体20名以上2割引
 (注) 冬季(12月下旬～2月下旬)は、展示物入れ替えなどで長期休館を原則としています。御用の場合は事前にお問い合わせ願います。

渡船場からアイランドパークへの西鉄バス時刻表(平成29年3月現在) ※博物館へは「能古学校前」で下車して下さい。

渡船場前発 アイランドパーク行	平日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	
	土曜日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	
	日・祝日	07:57	08:48	09:45	10:30	11:30	12:55	13:35	14:35	15:35	16:45	18:00
アイランドパーク発 渡船場前行	平日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	
	土曜日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	
	日・祝日	08:23	09:20	10:03	11:13	12:28	13:18	14:18	15:18	16:18	17:28	18:38

※ 繁忙期は臨時便が運行されます。

浜旅旅客待合所
までのアクセス

西鉄バス

- JR博多駅より 博多口正面Aのりば
300、301、302番「のこ渡船場行き」:約50分
- 天神より 三越前1Aのりば
300、301、302番「のこ渡船場行き」:約30分

市営地下鉄:「姪浜駅」下車乗り継ぎ

- 西鉄バス姪浜駅 北口
98番「のこ渡船場行き」:約12～20分
- タクシー:約8分

市営渡船(フェリー)

- 姪浜一能古島間:約10分

お問い合わせ

姪浜旅客待合所
TEL 092-881-8709
能古旅客待合所
TEL 092-881-0900

能古・姪浜航路 時刻表

能古 発	8	10:00	16	17:30	姪の浜 発	8	10:15	16	17:45		
1	◎05:00	9	11:00	17	18:00	1	◎05:15	9	11:15	17	18:15
2	06:00	10	12:00	18	18:30	2	06:15	10	12:15	18	18:45
3	06:30	11	13:00	19	19:30	3	06:45	11	13:15	19	19:45
4	07:00	12	14:00	20	20:15	4	07:15	12	14:15	20	20:30
5	07:30	13	15:00	21	20:45	5	07:45	13	15:15	21	21:00
6	08:00	14	16:00	22	21:45	6	08:15	14	16:15	22	22:00
7	09:00	15	17:00	23	◎22:45	7	09:15	15	17:15	23	◎23:00

※ 繁忙期はフェリー臨時便が運航され、島内バスの臨時便と接続します。 ◎印は日祝日運休 平成29年3月現在